



JA



JAおとふけ

2025年度
農協案内

OTOFUKE



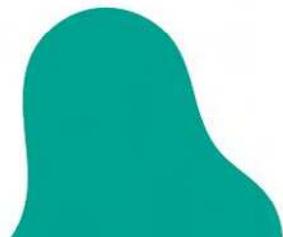
2025

INFORMATION
BROCHURE



音更町農業協同組合

OTOFUKE TOWN AGRICULTURAL COOPERATIVE





代表理事組合長

土田 純雄

Sumio Tsuchida
Union president

わたしたちは北国の四季を収穫します。

JAおとふけは、昭和23年4月14日音更村農業協同組合として設立され、地域に根ざした大型総合農協として発展してきました。

当JAは、十勝平野の中心部に位置し、小麦、豆類、馬鈴しょ、てん菜を中心とした畑作物を18,645ha作付けし、日本でも有数の穀倉地帯を担っています。また、人参、長芋、玉葱、ブロッコリーなどの野菜振興にも力を入れています。

酪農、畜産も盛んであり、生乳は年間約47,000tを生産しています。

利用施設では、小麦の品質向上と効率化を目指して平成23年に小麦乾燥調製貯蔵能力の大幅アップを図り、現在小麦の受入体制を構築しました。

平成30年に豆類貯留調製施設並びに低温貯蔵施設を増設し、豆類の更なる生産振興と、多様なニーズへの対応強化及び契約販売率向上などを図るとともに、高品質製品の安定生産・安定供給体制を構築しました。

青果では、平成16年に、玉葱・長芋貯蔵施設を、平成18年には人参洗浄選別予冷施設を整備し、集出荷選別施設の充実が図られています。

We harvest the four seasons of the Northern country.

Established on April 14, 1948, as Otofuke Village Agricultural Cooperative, JA Otofuke has since developed into a large, community-based, comprehensive agricultural cooperative.

Located in the heart of the Tokachi Plains, JA Otofuke is a key player in one of Japan's foremost breadbaskets, where wheat, beans, potatoes, sugar beets, and other upland crops are grown on 18,645 hectares of fields. The JA is also dedicated to promoting vegetables such as carrots, Chinese yams, onions, and broccoli.

Otofuke is also known for dairy and livestock farming, with approximately 47,000 tons of fresh milk produced annually.

To improve wheat quality and increase efficiency, we significantly upgraded our wheat drying, preparation, and storage capabilities in 2011, establishing our current wheat handling system.

In 2018, we expanded our bean storage and preparation facility as well as our bean cold storage facility. This expansion aims to further promote bean production, strengthen our ability to meet diverse needs, and increase contract sales rates while establishing a stable production and supply system for high-quality products.

In the vegetable section, facilities for collection, shipment, and sorting were improved, including the construction of an onion and Chinese yam storage facility in 2004 and a carrot washing, sorting, and precooling facility in 2006.

We built a biogas plant in 2015 to generate renewable energy from livestock manure and vegetable scraps, starting to sell electricity in 2016. This facility not only helps to reduce odors and prevent environmental pollution but also contributes to realizing a recycling-based society.

We are actively engaged in efforts to combat labor shortages through workforce support; improve soil infrastructure, including the utilization of subsurface drainage and soil conditioners like organic matter and lime materials; and promote smart agriculture as well as cooperation between crop and livestock farmers, among other initiatives.

To foster an understanding of Japan Agricultural Cooperatives (JA) and agriculture within the community, we have established an official website and YouTube channel while actively engaging in volunteer activities like roadside litter collection.

In this truly rural area, we are also focusing on financial services. In addition to aiming to stabilize business management and improve our cooperative members' quality of life, we are committed to local development through cooperative association business based on coexistence and mutual prosperity with the local community.

Construction of our new head office building began in April 2023, and we commenced operations there on July 16, 2024. Moving forward, as a JA rooted in the community, we will continue striving to achieve a prosperous local community through sustainable agriculture and the collective strength of cooperation.

平成27年には、家畜糞尿や野菜残渣から再生可能エネルギーを生産するバイオガスプラントを建設し、平成28年より売電を開始しました。この施設の稼働は臭気対策、環境汚染防止対策とともに循環型社会の実現を図るものとなります。

労働力不足に対応した労働力支援、有機物や石灰資材などの土壌改良資材の投入や暗渠排水をはじめとした土壌基盤整備、耕畜連携の推進、スマート農業の推進などを積極的に行っています。

地域にJA及び農業を理解してもらう活動として、ホームページや公式YouTubeチャンネルの開設、道路わきのゴミ拾いなどボランティア活動も積極的に行っています。

純農村地帯の中で、金融事業にも力を入れており、組合員の経営安定、生活向上はもとより、地域との共存共栄による協同組合事業を通して地域の発展のため鋭意努力しています。

令和5年4月より本部事務所の新築工事を開始し、令和6年7月16日から新本部事務所での営業を開始しました。今後も地域に根ざしたJAとして、持続可能な農業と協同の力で、豊かな地域社会の実現を目指し歩み続けていきます。



音更町は、北海道の広大な十勝平野の中心部に位置し、十勝川を挟んで帯広市の北側に隣接しており、町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまちです。また、北海道遺産に選定された世界でも珍しい「モール温泉」が湧き出す十勝川温泉や、日高・大雪連峰をはるかに望む美しい自然環境はとても魅力的で、四季を通じて観光客で賑わいます。

●音更町概要 令和7年5月末現在

位置	東経143°02'~143°22' 北緯42°55'~43°10'
面積	466.02平方km
東西	28.7km
南北	32.8km
人口	42,461人(男性20,139人/女22,322人)
世帯数	21,044世帯

組織概要・理念

事業実績

ブランド地域貢献

主要施設①

主要施設②

主要施設③

組織概要 JA Otofuke Outline

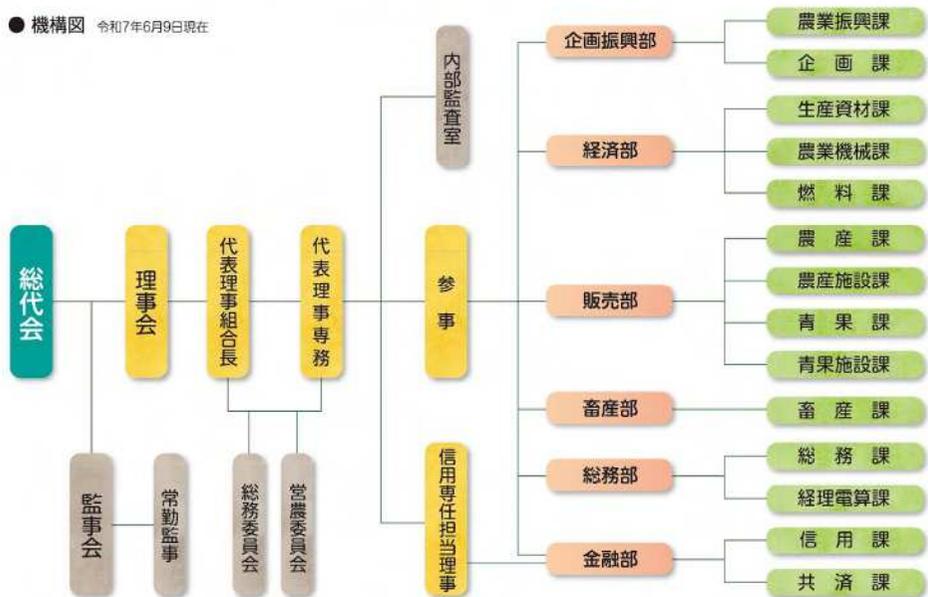
令和7年3月31日現在

設立 昭和23年4月14日
 地区 音更町一円
 正組合員戸数 475戸
 組合員 2,230名
 正組合員1,044名
 准組合員1,186名
 出資金 43億9259万円
 自己資本比率 29.87%
 役員 理事15名・監事5名
 職員174名
 (男性131名・女性43名)

- Foundation 14th April 1948
- Area Throughout the Otofuke town
- Household numbers of the cooperative members 475
- Members of the cooperative 2,230
 Official members 1,044
 Associate members 1,186
- Capital 4.3 billion yen
- Equity capital ratio 29.87%
- Numbers of directors and employees
 Directors 15 · Auditors 5
 Staff 174 (Male131 · Female43)

常設委員会 総務委員会6名
 営農委員会6名
 地域農業振興協議会 13地域
 組合員組織 ● 地域農業振興協議会
 ● 女性部
 ● 青年部
 ● 小麦生産振興会
 ● 馬鈴しょ生産振興会
 ● 甜菜対策協議会
 ● そ菜生産振興会
 ● 農業機械協議会
 ● 簿記青色普及会
 ● 年金友の会
 ● 音更町酪農振興会
 ● 音更町和牛生産改良組合
 ● 音更町馬事振興会

● 機構図 令和7年6月9日現在



組織理念 Corporate Philosophy

農業の持つ「つくる」「たべる」「くらす」の要素を協同の力、意志の結集により「つなぐ」ことで「持続可能な地域農業と豊かな地域社会の実現」を目指します。

JA Otofuke aims to achieve sustainable local agriculture and a prosperous local community by connecting the elements of agriculture—producing, eating, and living—through the collective strength and will of cooperation.



● シンボルマーク



JAおとふけの心
The heart of JA Otofuke



「農業者の心」・「JAおとふけの心」・「消費者の心」を表す3つのハートの重なりから構成され、外に向かって広がるような造形は、「前進・発展・繁栄」を表現しています。

The logo features three overlapping hearts, representing the heart of farmers, the heart of JA Otofuke, and the heart of consumers. The outward-expanding design expresses progress, development, and prosperity.

● キャッチコピー わたしたちは北国の四季を収穫します。

JAおとふけの事業 Business

JAおとふけは、地域の農業振興に向けて農業者を対象とした事業を基本としつつ、地域社会に向けても幅広い事業を展開し、地域に貢献できるよう取り組んでいます。

JA Otofuke focuses on agricultural promotion for local farmers while also engaging in a wide array of activities to benefit the local community, contributing to the well-being of the people and the prosperity of the community in Otofuke Town.

農業振興課・企画課

農業者の営農活動、生活に関するサポートや農業のPR活動を行っています。

- 農業経営支援 ●労働力支援
- 土地基盤整備
- スマート農業の推進 ●JAコネクト
- 食農教育 ●組合員研修
- 生活に関する支援
- 農業振興計画 新規事業調査検討

畜産課

畜産経営に関する相談や、搾乳された生乳の集荷・成分検査、畜産振興を行っています。

- 生乳生産に関する相談
- 生乳の集荷及び検査
- 肉用牛の生産に関する相談と販売
- 各種共進会 共助会への参加の推進
- 家畜預託及び防疫対策
- 畜産振興事業

生産資材課・農業機械課・燃料課

農業資材・自動車・農業機械・燃料など幅広く取り扱っています。

- 生産資材の供給
- 廃プラスチック 農業空容器の回収
- 農業機械整備 修理
- 車検整備 修理 板金塗装
- 自動車・農業機械販売 ●加工製作 修理
- 油類などの供給 ●カーライフサポート

農産課・農産施設課

農産物の生産に関する相談、推進並びに集荷、選別・調製、販売を行っています。

- 農産物の生産に関する推進、相談
- 優良種苗の生産、供給 ●試験の実施
- 農産物の集荷、選別・調製、保管、出荷
- 農産物の販売
- 品目別の生産振興会の活動

信用課・共済課

ニーズに合わせた金融商品を提供し、営農や生活に安心のもてる相談に努めています。

- 貯金・為替業務 ●ATMサービス
- 音更町指定金融機関業務
- 農業・生活資金融資
- 年金労務に関する業務
- 地方公共団体などへの融資
- JA共済への加入推進

総務課・経理電算課・内部監査室

自己資本の拡充による財務基盤の充実と、リスク管理、経営統制の強化に努め、健全経営を進めています。

- 農協運営に関する業務
- 組合員に関する業務
- 人事労務に関する業務
- 審査業務 ●内部監査
- その他の業務



貯金

農業者はもちろん、地域住民の皆様や事業主の皆様からの貯金をお取り扱いしています。



共済

「ひといえくるま」の総合保障で、お客様の暮らしを幅広くサポートいたします。



資金の融資

お客様のニーズに応じた融資のご提案を行っています。お気軽にご相談ください。



金融相談

幅広く高度な知識を持つ専門スタッフが、皆様のご生活設計に合わせた金融商品をご提案いたします。



整備工場

車の販売の他、自動車、トラックなど幅広い車種の車検整備や修理を行っています。



ガソリンスタンド

ガソリンや軽油、灯油、プロパンガスを供給する他に、各種カー用品の販売も行っています。



インターンシップの受入

中高大学生のインターンシップを受入しています。



出資金

住所または勤務地が町内にある方なら、1口1,000円からの出資で組合員になることができます。



資材センター

肥料、農業、小農具、作業着など営農に必要な各資材の供給をはじめ、さまざまなサービスを行っています。

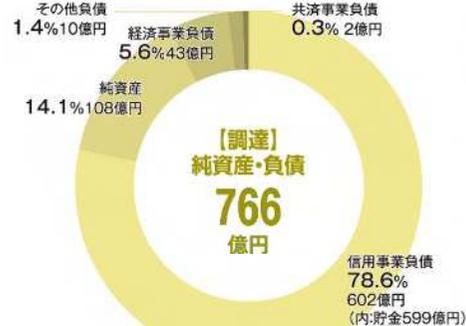
中高大学生のインターンシップを受入しています。

住所または勤務地が町内にある方なら、1口1,000円からの出資で組合員になることができます。

肥料、農業、小農具、作業着など営農に必要な各資材の供給をはじめ、さまざまなサービスを行っています。

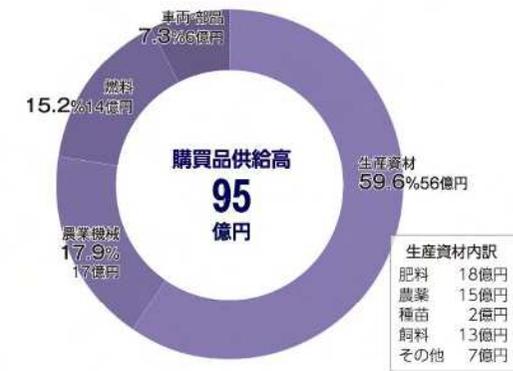
事業実績 Results

●財務の構成 令和6年度実績 (注)記載金額及び面積は、億円・ha未満を切り捨ててありますので、合計すると相違する場合があります。



そ菜耕作面積内訳

長手	70ha
玉葱	73ha
人参	508ha
南瓜	40ha
ブロッコリー	88ha
長芋	15ha
その他	55ha



生産資材内訳

肥料	18億円
農業	15億円
種苗	2億円
飼料	13億円
その他	7億円



組織概要理念

事業実績

ブランド地域貢献

主要施設1

主要施設2

主要施設3



JAおとふけブランド JA Otofuke Brand

十勝平野の中心部に位置し、小麦・豆類・馬鈴しょ・てん菜を基幹作物に日本有数の穀倉地帯を担う音更町。人参・長芋・玉葱・ブロッコリーをはじめとした野菜振興、酪農・畜産にも力を入れ、JAおとふけブランドとして全国に送り出しています。

Located in the heart of the Tokachi Plain, Otofuke Town serves as one of Japan's foremost breadbaskets with wheat, beans, potatoes, and sugar beets as its staple crops.

JA Otofuke also promotes vegetables such as carrots, Chinese yams, onions, and broccoli, as well as dairy and livestock farming, distributing products nationwide under the JA Otofuke brand.



小麦

秋に種を播き、翌年の夏に収穫する「きたほなみ」という製麺性に優れた品種を多く栽培しています。



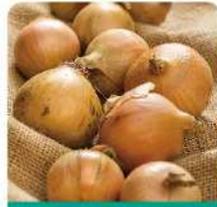
馬鈴しょ

生食用の「男爵薯」、「メークイン」、加工用の「トヨシロ」、「きたひめ」、でんぷん原料の「コナヒメ」などを栽培しています。



人参

選別工程で人参を冷やすことで鮮度と栄養分を保持する「コールドチェーン」に取り組んでいます。



玉葱

長期間出荷するため、極早生から貯蔵性に優れた品種まで、バランスよく栽培しています。



大豆

音更で栽培されている大豆の主なものは、インフラ含有率が多い「音更大抽殻大豆」、「コキホマレ豆」などがあります。



小豆

風味豊かな「エリモシヨウズ」や「きたるまん」などが栽培されており、低温貯蔵庫で保管し、徹底した品質管理を行っています。



黒豆

米養素が豊富で、健康維持に不可欠な黒豆。音更では、粒が大きく、煮崩れの少ない「いわいくろ」を中心に栽培しています。



金時豆

音更産の金時豆は、粒の大きさ、皮の柔らかさなどが食品加工業界で高く評価されています。



長芋

優良な長芋を安定生産するため、音更では青果品と種子を別々の農業者が栽培しています。



ブロッコリー

日本有数のブロッコリー産地としても知られています。



牛乳

酪農家が丹精込めて育てた牛たちから搾られた生乳は、風味豊かで栄養満点です。



肉牛

冷涼な気候と栄養満点の牧草が揃う好条件が「音更町すずらん和牛」というブランド牛を生み出しました。

JAおとふけの地域貢献 Local Contribution



JAおとふけは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

JAおとふけは、音更農業の発展と組合員の生活向上とともに、地域の人びと、地域社会への貢献に向けて食育・農育活動やイベントの開催、ボランティア活動などの様々なサービスを通じて、地域の皆様に親しまれる活動を積極的に展開しています。また、各種団体への寄付、イベントへの協賛などを通して、地域活動を支援しています。

JA Otofuke is dedicated to the development of agriculture in Otofuke and the improvement of its members' quality of life. In addition to these efforts, it engages in various activities for local people, including shokuiku (food and nutrition education), agriculture education, and events to benefit the local community, as well as services like volunteer work. The JA also supports local activities through donations to various organizations and sponsorships of events.



親子料理講習会

音更町内の小学生を対象とした親子料理講習会を開催。音更産食材の美味しさや調理方法について親子で楽しく学びます。



食農教育総合プログラム

音更町と協力し、子どもたちに食と農のつながりや、畑で作物を作る楽しさ、面白さを伝えています。作物の成長を通じて農業に興味を持ってもらいます。



音更ふるさと農村絵画コンクール

音更の農業や農村の風景を描くことで、農業の大切さを理解してもらうことを目的に主催しています。



親子わくわく農業体験

消費者との交流を目的に、農業者の若者たちで組織する青年部主催の農業体験、野菜収穫や音更産食材の料理体験などを行っています。



地域特産品イベントに参加

音更町で行われる地域イベントにも積極的に参加し、音更産食材の美味しさや安全性をPRしています。



地域の清掃活動

クリーンタウン音更の会に加盟し、清潔で住み良いまちづくりを目指し、町内の清掃活動に積極的に参加しています。



おとふけ給食

子どもたちに給食を通して、音更産の農産物の美味しさ、安全性を知ってもらう音更町の取り組みに協力しています。

※「おとふけ」は、アイヌ語の「オトフク」（毛髪が生ずる）が転じたもので、川の支流がたえず流れ続けていることを意味する。



福祉団体への寄贈

女性部活動の一環として、地域の福祉団体へタオルやトイレトイペーパーの寄贈を行っています。



社会福祉活動

音更町社会福祉協議会の活動に賛同し、古切手・ベルマーク・書き損じはがきの収集やフードバンク事業、各種行事などの協賛を行っています。

組織概要理念

事業実績

ブランド地域貢献

主要施設1

主要施設2

主要施設3

JAおとふけ主要施設 The facilities of JA Otofuke

本部事務所は、災害時にも電力供給が可能な太陽光発電や、地下空気を利用した空調システムを取り入れ消費電力を抑えるなど、SDGsを考慮した設備も兼ね備えています。また、組合員の皆様のさまざまな相談に対応できるように相談スペースを確保し、2階には休憩スペースや談話室を設けた造りとしています。

The Head Office building incorporates sustainable features, such as solar power that can supply electricity even during disasters and an air conditioning system utilizing underground air to reduce power consumption. It also includes additional consultation spaces for members, as well as rest areas and a lounge on the second floor.

1 本部事務所 4,465㎡（令和6年建設）



● 企画振興部、総務部、内部監査室



● 金融部



● 2Fホール



● 談話室



● 大会議室



● BEMSの導入
（エネルギー使用状況の「見える化」と機器の稼働を制御するシステム）



1 資材センター 981㎡（令和4年建設）



1 北海道運輸局長指定整備工場 2,304㎡ 洗車・清掃／板金・塗装場（平成26年建設）



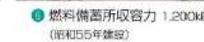
1 エコショップおとふけ店（株）ホクレン商事／1,490㎡（昭和57年建設）



● 第2スタンド 2,635㎡（昭和48年建設）



● 第1スタンド 1,107㎡（昭和43年建設）



● 燃料備蓄所収容力 1,200㎥（昭和55年建設）



● 畜産部事務所（昭和57年建設）



● 共豊牧場



● 種子馬鈴しょ共同選別施設（平成21年建設）



● 種子馬鈴しょ・種子長芋消毒施設（平成21年建設）



● 種子馬鈴しょ貯蔵庫 5棟（昭和54年建設）



● 施設・事業所

- 本部事務所
- GPS基地局（本部事務所）
- 資材センター
- エコショップおとふけ店（株）ホクレン商事
- 農産センター
- GPS基地局（農協サイロ）
- 第1スタンド
- 畜産部事務所
- 北海道運輸局長指定整備工場
- 第2スタンド
- 燃料備蓄所
- 青果管理センター
- 種子馬鈴しょ貯蔵庫（駒場）
- 種子馬鈴しょ共同選別施設
- 種子馬鈴しょ・種子長芋消毒施設
- 種子馬鈴しょ貯蔵庫（武儀）
- 種子馬鈴しょ貯蔵庫（南柏）
- 北営牧場
- 共豊牧場
- バイオガスプラント
- GPS基地局（昭和）
- GPS基地局（高倉）
- GPS基地局（農田）
- GPS基地局（西中音更）



1 バイオガスプラント
能力42t/日 発電能力最大150kw（平成27年建設）



1 GPS基地局 町内6ヶ所
（平成27年建設）

④ 青果管理センター

青果管理センターでは、人参、長芋、南瓜、玉葱、長葱、アスパラガスの選別を行っています。また、JAおとふけ管内では、ブロッコリー、ほうれん草などの野菜も生産されています。それぞれの季節で旬な野菜を、新鮮な状態で皆様へお届けしています。

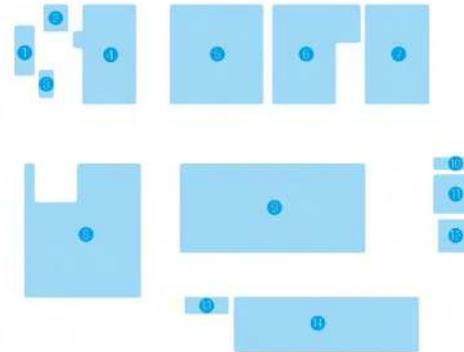
The Fruit and Vegetable Management Center sorts not only carrots but also Chinese yams, pumpkins, onions, green onions, and asparagus. In the JA Otofuke area, vegetables like broccoli and spinach are also cultivated. We deliver fresh, seasonal vegetables to everyone.



● 人参洗浄選別予冷施設
(平成18年建設)
● 延床面積: 4761.7㎡



● コールドチェーン
収穫した人参は水を利用した予冷施設で冷却され、その後も選別工程の合間に水による洗浄、冷却水槽、真空予冷、そして3℃に設定された製品庫での保管、冷蔵車輸送と温度管理を徹底します。



【青果管理センター施設配置図】

- 1 長芋発泡緩衝材製造施設
- 2 沈砂槽
- 3 物品庫
- 4 長芋洗浄選別施設
- 5 貯蔵庫3/A庫/B庫/C庫
- 6 貯蔵庫1/貯蔵庫2
- 7 〇庫(南瓜選別施設)
- 8 玉葱選別施設
- 9 人参洗浄選別予冷施設
- 10 玉葱・長芋貯蔵施設
- 11 トラックスケール
- 12 青果管理センター事務所
- 13 緑地帯
- 14 長葱選別施設
- 15 食品加工センター



① 青果管理センター (平成3年建設)



リサイクル土生成施設(平成24年建設)



● 長芋洗浄選別施設 (平成3年建設)
● 建物: 平成3年
● 機械導入: 平成27年
● 延床面積: 1,286㎡



● 長芋発泡緩衝材製造施設
緩衝材コストの削減や軽量化による輸送効率の向上を目的に建設しました。



● 南瓜選別施設 (平成3年建設)



● 玉葱・長芋貯蔵施設 (平成16年建設)

わたしたちは北国の四季を収穫します。



音更町農業協同組合

- 本部事務所 〒080-0101 河東郡音更町大通5丁目1番地 TEL.0155-42-2131
- 資材センター 〒080-0104 河東郡音更町新通5丁目1番地 TEL.0155-32-4127
- 整備工場 〒080-0341 河東郡音更町字音更西2線13番地6 TEL.0155-42-2203
- 第1スタンド 〒080-0101 河東郡音更町大通1丁目2番地 TEL.0155-31-4030
- 第2スタンド 〒080-0301 河東郡音更町木野大通西19丁目8番地 TEL.0155-31-4030
- 農産センター 〒080-0105 河東郡音更町新通北1丁目1番地 TEL.0155-42-2660
- 青果管理センター 〒080-0341 河東郡音更町字音更西2線15番地4 TEL.0155-42-3021
- 畜産部事務所 〒080-0335 河東郡音更町希望が丘1番地 TEL.0155-42-8724

 <https://www.ja-otofuke.jp>

 mame@otofuke.ja-hokkaido.gr.jp



組合員の皆様やJAの活動が
SDGsのゴールに繋がります
JAおとふけは、持続可能な開発目標
(SDGs)を支援しています。



JAおとふけ
公式サイト



YouTube
公式チャンネル